

③ 統合知識ベース管理システム

——FGCSプロジェクトにおけるデータベース・知識ベースの研究開発の概要——

(発表者：ICOT研究所 第3研究室 横田 一正、安川 秀樹)

質問：アメリカから参りました。データベースや論理プログラミングにおける不確実性にどのように対処しているのでしょうか。例えば、裁判では、証人によって異なる不確実な事実が数多く存在します。ある証人はこれが事実だと言い、また別の証人は別のことを事実だと言います。事実は、その裁判を通して決められます。しかし、その場合の論争では実際にどれを事実として取り上げるのでしょうか。

回答：Quixoteの現在のバージョンは最初の実験的なシステムで、主にデータモデルの拡張に焦点を合わせています。ご質問の論理的拡張は、まだ完全に終わったわけではありません。Quixoteにはモジュールなどいろいろメカニズムがあるので、これを使ってQuixoteの知識ベースに矛盾した知識を格納できるようになっています。あなたがおっしゃったことは、私どもの将来の計画に入っています。